

授業情報						
開講年度	2019年度		開講箇所	グローバルエデュケーションセンター		
科目名	数学基礎プラスα(最適化編) 02					
担当教員	高木 悟／曾布川 拓也／遠藤 直樹／野口 和範					
学期曜日時限	秋クォーター 01:無フルOD					
科目区分	数学科目		配当年次	1年以上	単位数	1
使用教室			キャンパス			
科目キー	9S02000002		科目クラスコード	02		
授業で使用する言語	日本語					
	コース・コード	MATX102O				
	大分野名称	数学				
	中分野名称	数学				
	小分野名称	数学				
	レベル	初級レベル(入門・導入)		授業形態	オンデマンド	
	オープン科目 フルオンデマンド授業					

シラバス情報							
副題	いかに利益を最大にするか？						
授業概要	※01・02とも同一内容です。1つしか履修できません。 ★重要★ 本授業は、ガイダンス・講義・小テスト・アンケート・最終試験をすべて Course N@vi で実施する「フルオンデマンド授業」である。履修登録の前に、必ず以下のURLで受講環境を確認し、すべて承知のうえで履修登録すること。 早稲田大学ITサービスナビ → 各種システムの推奨環境 http://www.waseda.jp/navi/services/system/sys_requirements.html ※大学が推奨している環境以外での受講による不具合については対応しません。 ※自宅のPCでオンデマンド授業が受講できない場合には、学内のPC教室で受講すること。 本科目は、早稲田大学の全学基盤教育「数学基礎プラス」シリーズの1つである。このα(最適化編)では高校数学の知識を前提とせずに授業を進めるので、数学が苦手であっても安心して学習できる。 「限られた資源の中でいかに利益を最大にするか？」あるいは「どうしても発生する損失をいかに最小にするか？」といった問題は最適化問題といわれ、実社会でもよく現れる。本科目では、最適化問題のうち比較的考察しやすい「線形計画問題」の「最大問題」に焦点を絞り、その解決法(線形計画法)といふとそれに必要な数学の基礎を講義する。最終的に線形計画問題の最大問題がたやすく解決できるような数学的能力の習得と、そのしぐみの理解を到達目標としている。また、論理的思考能力についても、本科目を受講することにより自然と身に付けられるよう専用の教科書を用いて講義する。 いまだで数学を避けてきた文系学生を主な対象とし、高校数学の知識を前提とせずに基礎からわかりやすく講義する。また、本科目を含む「数学基礎プラス」シリーズでは、教務補助のLA(教育コーチ)による対面指導のほか、Course N@vi のBBS(電子掲示板)や質問用ML(メーリングリスト)の質問制度を用意しているので、授業内容で理解できなかった点や質問したい点を気軽に聞くことができる。おおいに利用し、理解を深めてほしい。						
授業の到達目標	数学の基礎知識(行列の演算・連立1次方程式の行列による解法)、最適化の基礎知識(線形計画法・最大問題・最小問題・シンプレックス法)、論理的思考能力が身に付く。						
授業計画	1: #1. 行列の定義 行列の定義, いろいろな行列, 行列のスカラー倍, 行列の和と差 2: #2. 行列の計算 行列の積, 行列の計算のまとめ 3: #3. 連立1次方程式と掃き出し法1 連立1次方程式を解く, 連立1次方程式を行列で表す, 掃き出し法(連立1次方程式が解を1組だけもつ場合) 4: #4. 連立1次方程式と掃き出し法2 解が「ただ1組存在する」「無数に存在する」「存在しない」, 簡約行列, 掃き出し法(一般の場合) 5: #5. 最適化問題1 線形計画問題の最大問題, 1次不等式と領域, 最大問題のグラフによる解法 6: #6. 最適化問題2 シンプレックス法の考え方, シンプレックス法の基本操作 7: #7. ささまざまな最適化問題 最大問題(0でないスラック変数が存在する場合), 最小問題(シンプレックス法による解き方) 8: #8. 総復習と最終試験 総復習, 最終試験						
教科書	早稲田大学グローバルエデュケーションセンター数学教育部門編「数学基礎プラスα(最適化編)2019」早稲田大学出版部 2019年 早稲田大学内の書協で取り扱っています。一般の書店で取り寄せてもらうことも可能です。						
参考文献	三宅敏恒 著「線形代数学-初歩からジョルダン標準形へ」培風館 2008年 E.ドウリング 著「例題で学ぶ入門・経済数学(上)(下)」シーエーピー出版 1995年 高木悟・長谷川研二・熊ノ郷直人・菊田伸・森澤貴之 共著「理工系のための線形代数[改訂版]」培風館 2018年 早稲田大学グローバルエデュケーションセンター数学教育部門編「数学基礎プラスβ(最適化編)」早稲田大学出版部 (2015年以降の発行であればどれでもいい)						
成績評価方法	<table><tr><th>割合</th><th>評価基準</th></tr><tr><td>試験: 30%</td><td>#8(第8回)に実施する最終試験の得点が成績に反映される。</td></tr><tr><td>平常点評価: 70%</td><td>#1(第1回)から#7(第7回)の問題演習(ドリル)と小テストの得点が成績に反映される。詳細は履修登録後にガイダンス動画を視聴して確認すること。</td></tr></table>	割合	評価基準	試験: 30%	#8(第8回)に実施する最終試験の得点が成績に反映される。	平常点評価: 70%	#1(第1回)から#7(第7回)の問題演習(ドリル)と小テストの得点が成績に反映される。詳細は履修登録後にガイダンス動画を視聴して確認すること。
割合	評価基準						
試験: 30%	#8(第8回)に実施する最終試験の得点が成績に反映される。						
平常点評価: 70%	#1(第1回)から#7(第7回)の問題演習(ドリル)と小テストの得点が成績に反映される。詳細は履修登録後にガイダンス動画を視聴して確認すること。						
備考・関連URL	Course N@vi によるフルオンデマンド授業であるが、対面による質問相談受付などフォロー体制を整えているので、数学が苦手な学生も安心して受講できる。 本科目を受講することにより、数学に対する考え方、ものの見方が変わるであろう。 本学の定める本クォーター開始日の00:00から#1(第1回)がスタートする。 秋クォーターのクラスは科目登録の2次登録者にも配慮し、#1の小テスト等の締め切りを延長する。 詳しい授業スケジュールについては、履修登録後に Course N@vi 本科目内のガイダンス動画を必ず視聴して確認すること。						

